

**令和7年度進行管理・評価シート**  
**萩市歴史的風致維持向上計画（第2期）（平成31年3月26日認定）**

**□進捗評価シート(様式1)**

①組織体制(様式1-1)	
1 計画の実施体制の一元化 市民団体との協働 .....	2
②重点区域における良好な景観を形成する施策(様式1-2)	
1 歴史的町並みと調和した良好な景観の形成 .....	3
③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項(様式1-3)	
1 萩時代まつり支援事業 .....	4
2 萩夏まつり支援事業 .....	5
3 萩の和船大競漕「おしくらごう」支援事業 .....	6
4 浜崎伝建おたから博物館支援事業 .....	7
5 ワンコイントラスト(百円信託)運動 .....	8
6 萩おたからツーリズム(旧萩検定)・子どもものしり博士検定支援事業.....	9
7 萩・万灯会 .....	10
8 萩・大茶会支援事業 .....	11
9 萩ものがたり出版支援事業 .....	12
10 萩焼まつり支援事業 .....	13
11 語り部活用事業 .....	14
12 萩まちじゅう博物館文化遺産活用事業 .....	15
13 地域コミュニティ組織づくり事業 .....	16
14 萩・夏みかんまつり支援事業 .....	17
15 萩反射炉保存修理事業 .....	18
16 恵美須ヶ鼻造船所跡保存整備事業 .....	19
17 重要伝統的建造物群保存地区保存修理事業 .....	20
18 萩城跡保存修理事業 .....	21
19 文化財保護修理事業 .....	22
20 弘法寺堀内線他無電柱化事業 .....	23
④文化財の保存又は活用に関する事項(様式1-4)	
1 文化財の保存・修理等に関する事項 .....	24
2 文化財の普及・啓発等に関する事項 .....	25
3 文化財施設等の活用に関する事項 .....	26
⑤効果・影響等に関する報道(様式1-5)	27
⑥その他(効果等)(様式1-6)	28
□法定協議会等におけるコメントシート(様式2)	29

評価軸①-1  
組織体制

項目	評価対象年度	令和7年度
		現在の状況
計画の実施体制の一元化 市民団体との協働		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容 計画に定める事業等の実施及び計画変更については、市政全般の調整を行う総合政策部との連携のもと、商工観光部が中心となって行い、「NPO萩まちじゅう博物館」、「浜崎しっちゃん会」、「NPO萩観光ガイド協会」などの民間団体等との協働により計画を推進していく。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

行政の組織体制においては、令和3年度に観光政策部を改め、商工観光部を設置するなど、萩の歴史的風致を活かしたまちづくりを商工及び観光行政と連携して総合的に進める体制を強化している。民間団体の取り組みについては、「萩まちじゅう博物館構想」を推進する中核的団体であり、萩市歴史的風致維持向上支援法人である「NPO萩まちじゅう博物館」や重要伝統的建造物群保存地区の保存活用に取り組む「浜崎しっちゃん会」、「萩往還佐々並どうしんてやろう会」、市内の文化財施設の管理やガイドを行っている「NPO萩観光ガイド協会」などが、それぞれの資源を活かしたまちづくりに取り組んでおり、これらの団体との協働により計画を推進している。

NPO萩まちじゅう博物館会員数 210人、NPO萩観光ガイド協会会員数 78人  
 浜崎しっちゃん会会員数 60人、萩往還佐々並どうしんてやろう会会員数 118人

(令和8年3月末現在)

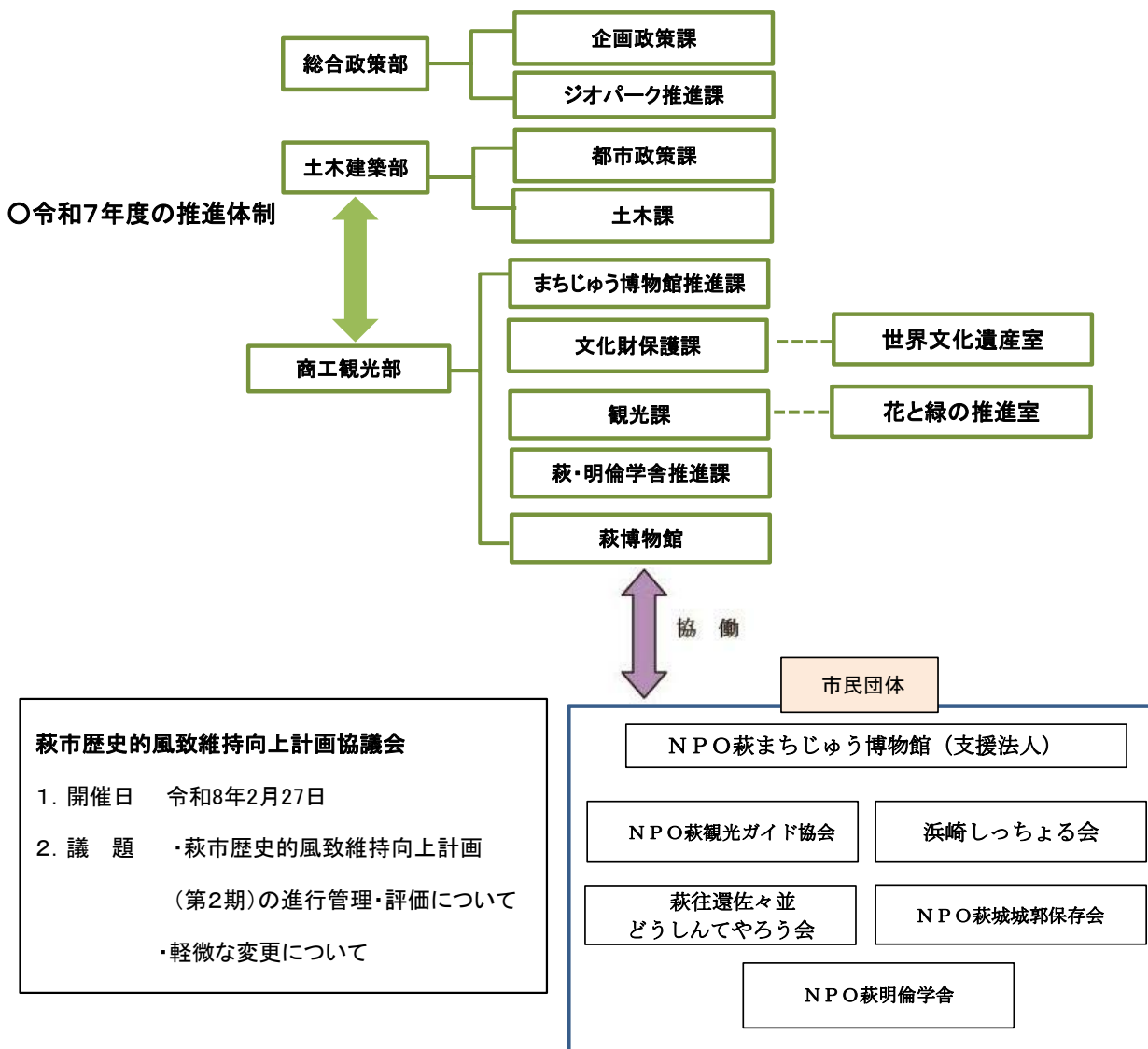
進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題(自由記述)

■計画どおり進捗している  
計画どおり進捗していない

計画変更、進行管理及び評価については、まちじゅう博物館推進課、事業実施については各事業担当課が行っているが、適正な計画の推進と事業実施を図るため、定期的な庁内担当者会議等の開催を検討する。

状況を示す写真や資料等

歴史まちづくり推進体制



評価軸②-1

重点区域における良好な景観を形成する施策

	評価対象年度	令和7年度
項目	現在の状況	
歴史的町並みと調和した良好な景観の形成	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

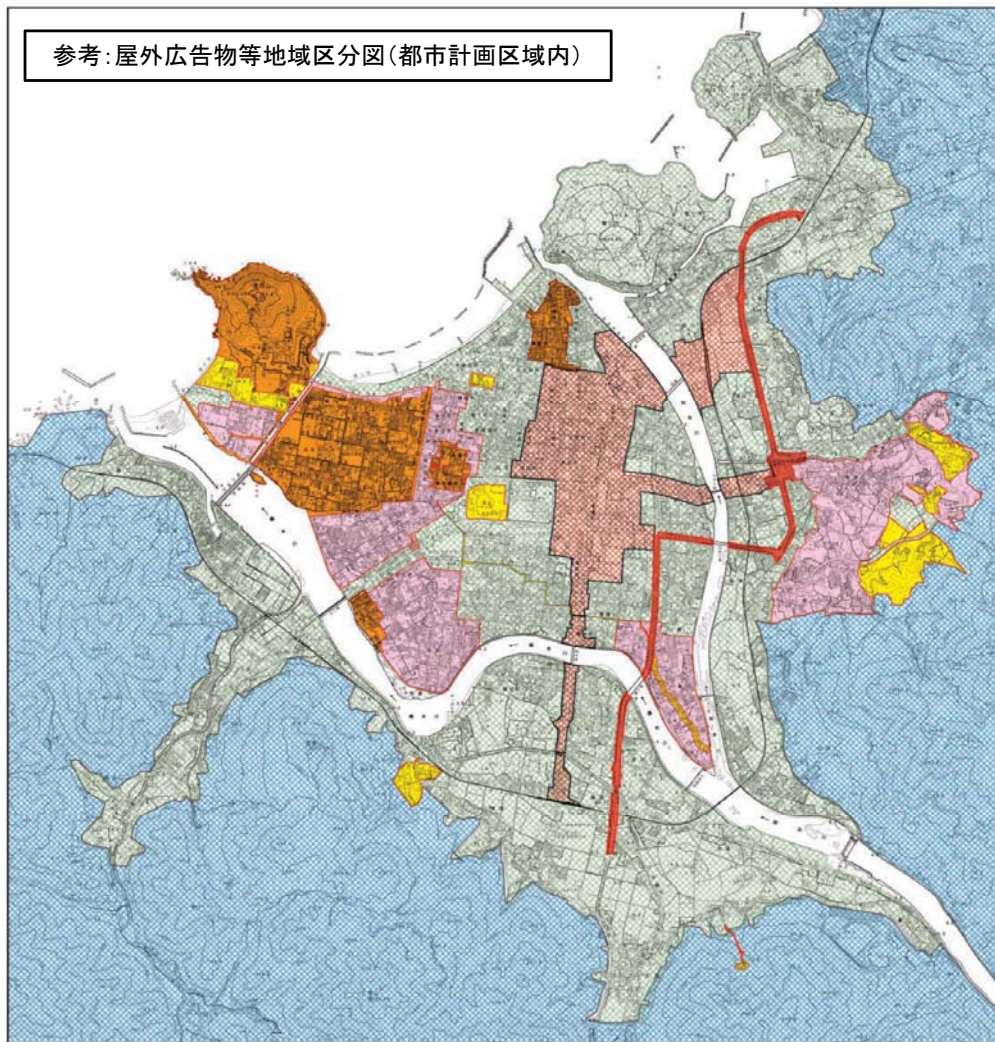
計画に記載している内容  
 地区や地域を定めて指定している文化財の周辺部の環境を保全するために、新築等に際しては、都市計画法及び建築基準法に基づく萩市の都市計画用途地域と景観法に基づく景観計画の重点景観計画区域の設定により規制誘導を行い良好な景観を確保するとともに、地区や地域の指定拡大や追加に努める。歴史的価値が特に高い建造物の周辺には緩衝地帯を設け、周辺環境の保全に努める。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

重点区域は、歴史的風致を色濃く残す萩市の中心市街地と重なる。現在、都市計画法に基づき、地域の歴史的特性に合った土地利用が図られるよう適切な用途地域の指定を行っている。また、景観法に基づき平成19年12月に運用を始めた萩市景観計画では、重点的に景観の形成及び保全を図る地域である重点景観計画区域の多くを重点区域内において指定し、地域の特性に応じて詳細な景観形成基準を定め、建築物の高さを制限するほか、良好な景観形成のための指導等を行っている。さらに、萩市屋外広告物等に関する条例では、重点景観計画区域については自家用広告物以外の広告物の掲出を原則禁止する禁止地域に指定するなど強い制限をかけ、屋外広告物掲出の誘導を行っている。このような施策を住民の理解を得ながら行っており、歴史的風致の維持及び向上に努めている。  
 ○令和7年度 萩市景観計画区域内行為届受理件数 45件(令和8年3月末現在)

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	景観計画や屋外広告物等に関する条例による規制の理解を得ることに苦慮することがあるが、萩市の景観に対する取り組みを十分に説明し理解していただいたうえで、基準に適合させた建築物・工作物等の新築等を行っていただくこととしている。

状況を示す写真や資料等



参考:屋外広告物等地域区分図(都市計画区域内)

禁止地域		許可地域	
	第1種禁止地域		第1種許可地域
	第2種禁止地域		第2種許可地域
	第3種禁止地域		第3種許可地域
	第4種禁止地域		

※第3種許可地域は都市計画区域外を含む

評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和7年度
			現在の状況
萩時代まつり支援事業			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	平成7年度～		
支援事業名	萩市単独事業		
計画に記載している内容	萩時代まつりは、藩政時代を起源とする天神祭を核に行われる。毛利の伝統を受け継ぐ2つの奉納行列のほか、町内会による唐樋御神幣、川島聖講などが、萩市内を練り歩き、金谷神社に奉納される。舞台となる萩の町並みがまつりを盛り上げることで、萩市の歴史的風致の維持向上につながる。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
開催日時	令和7年11月9日(日)8時～16時		
入込数	10,000人		
今年は毛利輝元公400年祭として行われた。 奉納行列には「平安古備組」が参加し、例年どおり金谷神社に奉納を行った。			

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	担い手の確保が課題であり、外部人材などの活用も検討していく必要がある。

状況を示す写真や資料等



「草履舞」の様子



平安古備組「手廻り備え行列」



川島聖講

評価軸③-2

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和7年度
萩夏まつり支援事業			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	昭和38年度～		
支援事業名	萩市単独事業		
計画に記載している内容	藩政時代から続く、萩市浜崎伝統的建造物群保存地区に位置する住吉神社の祭りに併せて行う。祭りの核となるのが、萩藩の御座船唄であり、山口県無形民俗文化財に指定されている「お船謡」の奉納や「住吉神輿」の奉納である。藩政時代から今に継承される伝統行事を次世代に受け継ぐことにより、萩市の歴史的風致の維持向上に繋がる。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
開催日	令和7年8月1日(金)・2日(土)・3日(日)		
開催場所	萩市内各所 入込客数 100,000人		
◆萩夏まつり主なスケジュール ○8月1日(金)住吉神社例大祭、萩・日本海大花火大会 ○8月2日(土)住吉みこし、萩・アオハル祭 ○8月3日(日)お船謡、住吉御輿、住吉おんな御輿、踊り車			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	担い手の確保が課題であり、外部人材などの活用も検討していく必要がある。		
状況を示す写真や資料等			
<p>「お船謡」</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>「住吉神輿」</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>			

評価軸③-3

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和7年度
項目		現在の状況	
萩の和船大競漕「おしくらごう」支援事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成16年度～

支援事業名 萩市単独事業

計画に記載している内容 藩政時代より受け継がれる「おしくらごう」と呼ばれる和船競漕は、玉江浦地区厳島神社の例祭に合わせて行われる。伝統文化を継承していくことにより、歴史的風致の維持向上を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

開催日時 令和7年6月1日(日)8時30分～13時

開催場所 萩市橋本川下流

入込数 2,000人

「おしくらごう」は、以前は、海上で行われていたが、近年は橋本川下流に場所をかえ、多くの市民や観光客が観覧できるようになった。ねじりはちまき・下帯姿の若者たちが和船に乗り込み、掛け声をあわせて櫂を漕ぎ、銀色の波しぶきをあげ、佳時を偲ばせる白熱したレースを繰り広げた。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	担い手の確保が課題であり、外部人材などの活用も検討していく必要がある。

状況を示す写真や資料等

「おしくらごう」の様子



**萩の和船大競漕**  
 おしくらごう  
 2025 6月1日  
 8時30分～13時  
 萩市玉江浦 (橋本川下流域 河川敷)  
 8:30 開会式  
 9:00 和船競漕  
 12:00 玉江浦 おしくらごう  
 12:30 閉会式 ※閉会式終了後、餅まき  
 ◆主催: 萩の和船大競漕実行委員会 ◆共催: 萩市、山口県漁業協同組合はぎ圏括支店  
 お問い合わせ 萩市水産課(萩の和船大競漕実行委員会) ☎0838-25-4195



評価軸③-5 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	令和7年度
項目		現在の状況	
ワンコイントラスト(百円信託)運動		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成17年度～		
支援事業名	萩市単独事業		
計画に記載している内容	萩に残る未指定の文化遺産を保存、活用、継承するため、市内の文化財施設などにトラストボックス(寄付金箱)を設置し、ワンコイン(100円)のトラスト(信託)を求める。財政支援を得にくい未指定の文化遺産の保存を図ることにより、萩市の歴史的風致の維持向上を図る。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
トラストボックス設置箇所 12箇所 ①道の駅「萩しーまーと」 ②萩博物館 ③道の駅萩往還内「松陰記念館」 ④旧山村家住宅 ⑤渡辺蒿蔵旧宅 ⑥有備館 ⑦玉木文之進旧宅 ⑧萩・明倫学舎 ⑨旧小林家住宅(萩往還おもてなし茶屋) ⑩「道の駅」ゆとりパークたまたがわ⑪いかマルシェ ⑫つわぶきの館 トラスト金額 累計33,351,231円 (令和8年3月末現在)			
本年度は、次期物件の保存・修復等のための信託金の積み立てを行った。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	新たな施設等へ募金箱設置の検討を行う。		
状況を示す写真や資料等			
<div style="background-color: #4CAF50; color: white; padding: 5px; font-weight: bold;">今までに修復などを行った萩の宝物</div>			
<b>第1号 井上勝旧宅門</b> 修復後  名 称: 井上勝(鉄道之父)旧宅門 物件の公開: 萩市土庫 208号 修復年月: 平成18年4月		<b>第2号 猿田彦面山車</b> 修復後  名 称: 猿田彦面山車 物件の公開: 住吉神社のお祭り で一般公開 修復年月: 平成16年10月	
<b>第4号 御網代車</b> 修復後  名 称: 御網代車 物件の公開: 毎年11月に行われる金谷天満宮祭礼の御神幸 神事で一般公開 修復年月: 平成20年10月		<b>第5号 長州砲</b> 英国より里帰り を実現  名 称: 長州砲(萩野流一貫目青銅砲) 物件の公開: 萩博物館で期間限定公開 重 量: 約 1.5トン 修復年月: 平成20年8月から平成21年5月末日まで	
<b>第7号 高杉晋作立志像</b> 銅像建立  名 称: 高杉晋作立志像 物件の公開: 尾道駅前地下街 にて常時公開 建立年月: 平成22年10月		<b>第8号 奇兵隊隊服を再現</b> 奇兵隊隊服を再現  名 称: 奇兵隊隊服 物件の公開: 萩時代まつりや 新館開館で一般公開 完成披露: 平成25年6月	
<b>第9号 久坂玄瑞進撃像</b> 銅像建立  名 称: 久坂玄瑞進撃像 物件の公開: 萩市中央公園 にて常時公開 建立年月: 平成27年1月		<b>第10号 井上勝志気像</b> 銅像建立  名 称: 井上勝志気像 物件の公開: 萩駅前にて 常時公開 建立年月: 平成28年10月	
<b>第11号 平安古備組道具類</b> 銅像建立  名 称: 平安古備組道具類 物件の公開: 萩時代まつりや萩博物館で 一般公開 修復年月: 令和5年10月		<b>第12号 金谷神社土塀</b> 銅像建立  名 称: 金谷神社土塀 物件の公開: 常時公開 修復年月: 令和6年1月	

評価軸③-6

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和7年度
項目	現在の状況	

萩おたからツーリズム(旧萩検定)・子どもものしり博士検定支援事業

- 実施済
- 実施中
- 未着手

事業期間 平成17年度～ ※萩おたからツーリズムは、旧「萩検定」をリニューアルし、令和7年度から開始

支援事業名 萩市単独事業

計画に記載している内容 萩おたからツーリズムは、毎回、周遊する地域を決め、まちじゅうへの周遊やおたからの保全・活用を図ること  
で、萩市の歴史的風致の維持向上に寄与している。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

開催日時 令和7年11月30日(日)10時～15時

参加者数 24名

開催場所 田万川地域 江崎地区

萩まちじゅう博物館では、これまで発見してきた萩の“おたから”を守り・育て・継承していくために、その「見守り」＝モニタリングを目的として、まち歩き・まち巡りのツアーを毎年おこなってきた。今年度からは、新しい試みとして、萩検定を大幅にリニューアルし、市内の各地域に足を運び、地域の“おたから”にまつわる謎を解く、新たなツーリズムとして実施した。第1回目は、田万川地域江崎地区。参加者には、田万川地域の「おたからマップ」を片手に、江崎のまちを歩いておたからの謎解き&再発見に挑戦した。

平成20年度から開催している「萩子どもものしり博士検定」については、平成24年度から市内の小中学生は、各学校で受験する方式に変更し、引き続き実施する。

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

現地での謎解きをきっかけとした、まちじゅう博物館活動の活性化や交流人口の拡大が課題。

状況を示す写真や資料等



子どもものしり博士 (市内各小学校で受験)	
R元	361人
R2	コロナのため中止
R3	549人
R4	278人
R5	264人
R6	275人
R7	198人



子どもものしり博士検定  
用テキスト(改訂版)  
「萩ものしりブック」

評価軸③-7

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和7年度
--	--------	-------

項目	現在の状況
萩・万灯会	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 昭和42年度～

支援事業名 萩市単独事業

計画に記載している内容 萩・万灯会は、萩藩主毛利家の菩提寺である大照院と東光寺(いずれも重要文化財)で開催される。萩藩主とその一族を弔うための伝統行事であり、本事業の開催によって萩市の歴史的風致を広く発信している。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- ◆大照院・天樹院<迎え火>  
開催日時 令和7年8月13日(水) 19時00分～
- ◆東光寺<送り火>  
開催日時 令和7年8月15日(金) 19時30分～  
入込数(迎え火・送り火)7,200人

毛利氏の菩提を弔うため、石燈籠(大照院、約600基、東光寺、約500基)に入れられたろうそくの火が、幻想的な世界を作り出した。令和7年は、毛利輝元公没後400年を記念して、輝元公の墓所のある天樹院でも実施した。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	施設の維持・管理が課題。新たな活用方法等により維持・管理方法の検討が必要。
--	---------------------------------------

状況を示す写真や資料等

「大照院」万灯会



「東光寺」万灯会



評価軸③-8

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和7年度
項目		現在の状況	
萩・大茶会支援事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成9年度～		
支援事業名	萩市単独事業		
計画に記載している内容	萩焼とともに歴史ある萩の茶の湯文化を紹介するイベント。史跡萩城跡を中心として開催する。萩市の歴史的風致を活用し、萩市の歴史と文化を広く発信している。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
開催日時	令和7年5月3日(土・祝)、4日(日・祝)10時～15時／献茶式9時30分～		
入込数	1,558人 (薄茶席)		
遠州流萩支部【萩城跡指月公園内 花江茶亭】、裏千家淡交会萩支部【萩市民館】 表千家萩千萩会【萩博物館】 (生け花展) 池坊萩支部【萩城跡指月公園内 梨羽家茶室、旧厚狭毛利家萩屋敷長屋、萩博物館隔矢倉】 (琴、尺八の演奏) 箏好会・孔友会【萩城跡指月公園内】			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	担い手の確保が課題であり、外部人材などの活用も検討していく必要がある。		
状況を示す写真や資料等			

「萩・大茶会」の様子



【イベントチラシ】

**世界遺産登録十周年・毛利輝元公四百年祭**

**萩大茶会**

5月3日(土・祝)・4日(日・祝)  
午前10時～午後3時・雨天決行(3日午前9時30分～献茶式)

**会場**  
花江茶亭 遠州流萩支部  
萩市民館 裏千家淡交会萩支部  
萩博物館 表千家萩千萩会

**その他**  
生け花展(池坊萩支部)  
琴、尺八の演奏(箏好会・孔友会)

前売券/セット券(薄茶3席) 1,200円 当日券/一席券 500円

**毛利輝元公没後400年事業**  
とき 4/27(日) ところ 萩城跡指月公園  
平安古備組による大名行列、船屋披露、男なら披露、大板山たら太鼓披露などが行われます。

評価軸③-9  
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和7年度
項目		現在の状況	
萩ものがたり出版支援事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成16年度～		
支援事業名	萩市単独事業		
計画に記載している内容	萩にまつわる歴史、自然、民俗、芸術などの萩の物語(ストーリー)を、読み易いブックレット形式のシリーズとして出版、定期的に刊行する(年間4冊程度発行)。貴重な萩の情報を書籍出版することにより、萩市の歴史的風致を広く発信している。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
■令和7年4月発行 ・萩ものがたり85号 「高杉晋作 最前線に立つ」 ・萩ものがたり86号 「奇兵隊 一強さのひみつ」 ■令和7年10月発行 ・萩ものがたり87号 「絵図で読む 萩の伝説と伝承」 ・萩ものがたり88号 「萩城と城下町 一文化財を中心に」 平成16年度からの累計発行数88巻			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	購読者増のため、インターネット通販などによる対応の検討が必要。		
状況を示す写真や資料等			



令和7年4月発行

- ・萩ものがたり85号  
「高杉晋作 最前線に立つ」  
(下関市立歴史博物館 古城春樹 著)
- ・萩ものがたり86号  
「奇兵隊 一強さのひみつ」  
(広島大学名誉教授 三宅紹宣 著)



令和7年10月発行

- ・萩ものがたり87号  
「絵図で読む 萩の伝説と伝承」  
(元山口県文書館副館長 金谷匡人 著)
- ・萩ものがたり88号  
「萩城と城下町 一文化財を中心に」  
(元萩市文化財保護課総括専門職 柏本秋生 著)

評価軸③-10  
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和7年度
項目		現在の状況	
萩焼まつり支援事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成3年度～

支援事業名 萩市単独事業

計画に記載している内容  
本事業は、日本を代表する工芸品である萩焼を広く紹介するため、市内の窯元や販売店が一堂に集結して行う即売会である。萩焼作家の直接指導によるろくろ体験や特産品の販売も行う。本事業の開催で、萩焼が広く知られることになり、萩市の歴史的風致の情報発信を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

令和7年度の萩焼まつりは、「萩のまち全体が会場の実店舗めぐり」と「オンライン販売」の2本立てで開催された。

- 内容
- ・実店舗販売 5月1日(木)～5日(月・祝) 協賛店64店舗
  - ・萩市民館小ホール 5月1日(木)～5日(月・祝) 出店者20店舗
  - ・萩・明倫学舎 5月1日(木)～5日(月・祝) 出店者16店舗
  - ・オンライン販売 5月1日(木)～15日(木)出店者17店舗
  - ・入込客数 47,077人

・5月1日(木)～5日(月・祝)まで萩市民館、萩・明倫学舎内多目的復元教室に「萩焼まつりコンシェルジュ」を配置し会場の案内を実施した。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	萩の春のイベントとして定着しており、リピーターも見られるが、入客数や客単価向上に繋げるため様々な企画等を考案する必要がある。

状況を示す写真や資料等

「萩焼まつり」会場の様子



実店舗販売



萩・明倫学舎会場



萩市民館会場

評価軸③-11

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和7年度
項目		現在の状況	
語り部活用事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成24年度～		
支援事業名	萩市単独事業		
計画に記載している内容	萩市の歴史的風致を構成する豊かな歴史、文化、自然等につわる物語(ストーリー)を「語り部」が文化財施設などで観光客等に語るにより、萩市の歴史や文化を広く全国発信する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
【萩の語り部歴史講座①】 開催日時 令和8年3月15日(日) 開催場所 渡辺蒿蔵旧宅 語り部 中野悦子「吉田松陰と女性たち」 末永光正「鹿鳴館を造った男 井上馨」 繁澤征夫「萩城下の川島と人物」			
【萩の語り部歴史講座②】 開催日時 令和8年3月22日(日) 開催場所 平安古かいまがり交流館 語り部 山根和人「世界で最初の松陰の伝記」 末永光正「昭和初期の萩町の世相」			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	体験観光のメニューの一つとして、観光客へのPRも必要。		

状況を示す写真や資料等

○萩の語り部歴史講座の様子



○萩の語り部歴史講座チラシ

「萩の豊かな歴史」と先達の「情熱」や「志」に触れてみませんか



萩まちびゅう博物館

1講座40分

参加費無料!  
申込不要!

3月15日(日)

渡辺蒿蔵旧宅

3月22日(日)

平安古かいまがり交流館

詳しくは裏面をチェック!



## 評価軸③-13

## 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度		令和7年度
項目		現在の状況
地域コミュニティ組織づくり事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	平成19年度～	
支援事業名	萩市単独事業	
計画に記載している内容	<p>過疎高齢化の進展に伴い、広域的に自治機能を補完し合い、コミュニティの維持及び振興を図る仕組みづくりとして、学校区等を単位とした地域コミュニティ組織づくりを推進し、地域コミュニティの強化を図る。このことにより、各地域に古くから伝わる伝統芸能や伝統行事の継承、自然景観や歴史的景観の保全等が期待でき、もって歴史的風致の維持及び向上を図ることができる。</p> <p style="text-align: center;">定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で</p> <p>過疎化や少子高齢化により、地域の祭礼や草刈等の集落活動が徐々に困難となっている中で、地域の特色を活かした地域づくりを推進するため、「魅力ある地域づくり交付金制度」を創設し、集落や既存の団体の垣根を越えて地域全体で補い合うことができる新たな地域コミュニティづくりを推進している。</p> <p>令和7年度交付実績見込み(令和8年3月末時点)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・交付地域 6地域(川上、田万川、むつみ、須佐、旭、福栄地域)</li> <li>・交付金額 31,278千円</li> </ul>	
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	高齢化が進む中において、各地域で創意工夫を凝らして地域コミュニティ活動の活性化に繋がる取組を実施している。	
状況を示す写真や資料等		
○魅力ある地域づくり交付金の活用例		
<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;">  <p style="text-align: center;">奥阿武むつみ地図</p> </div> <div style="width: 50%;"> <p><b>【むつみ地域】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>むつみふるさとまつり</li> <li>・むつみ神楽の披露</li> </ul> <p>奥阿武むつみ地図の配付</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・むつみ地域の史跡・名勝など魅力スポットを紹介した「萩・むつみ散策マップ」を改訂</li> <li>・地域内の観光拠点や周辺道の駅等で配付</li> </ul> <p>むつみ福祉・文化の集い</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・むつみ地域住民による福祉啓発、文化発表等を実施</li> <li>・むつみ神楽の披露</li> </ul> </div> </div>		
<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;">  <p style="text-align: center;">秋のささなみまちじゅうまつり (佐々並小学校児童による伝建地区定点ガイドの様子)</p> </div> <div style="width: 50%;"> <p><b>【旭地域】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>明木地区農業文化祭</li> <li>・明木地区の住民による文化発表等を開催</li> <li>・彦六又十郎伝説の紙芝居及び寸劇披露</li> </ul> <p>秋のささなみまちじゅうまつり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・伝建地区定点ガイドクイズラリー等</li> </ul> <p>佐々並どうしんてやろう会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・伝統文化行事の継承</li> </ul> <p>彦六・又十郎伝保存会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・彦六又十郎伝の伝承活動</li> </ul> <p>萩・赤間関街道を歩く会</p> </div> </div>		

評価軸③-14

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和7年度
項目		現在の状況	
萩・夏みかんまつり支援事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	令和元年度～10年度		
支援事業名	萩市単独事業		
計画に記載している内容	土堀越しにのぞく夏みかんは、萩を代表する景観の一つ。本事業を通じ萩の伝統的建造物が多く残る景観と夏みかんの深い関係を広く情報発信することにより、夏みかんに関わる歴史的風致の維持及び向上に寄与する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
開催日時	令和7年5月10日(土)・11日(日) 10時～16時		
入込数	5,363人		
内容	●オープニングセレモニー ●ステージイベント ●夏みかん製品等の販売 ●夏みかん収穫体験 ●夏みかんクイズラリー&ガラポン抽選会 ●抹茶席 ●萩八景遊覧船 無料乗船体験 など		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	萩を代表する、特産品である夏みかん及び夏みかんに関わる独自の風景などのPRとして、効果的なイベントとなっている。スムーズな会場への誘導対策が課題。		

状況を示す写真や資料等

「萩・夏みかんまつり」会場内の様子



イベントチラシ

評価軸③-15

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和7年度
項目	現在の状況	
萩反射炉保存修理事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成22年度～令和16年度

支援事業名 萩市単独事業

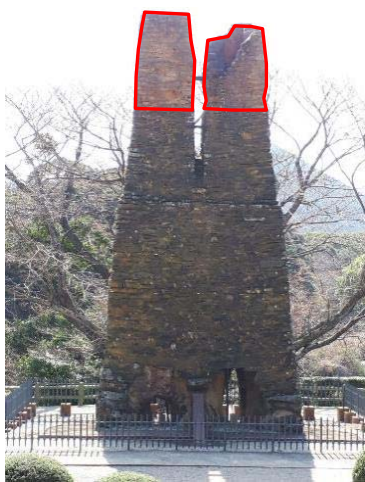
計画に記載している内容 萩反射炉は前回の保存修理工事から35年が経過し、煙突本体煉瓦部の劣化が著しい状態であるため、当該箇所の保存修理を行い歴史的景観の保全を図ることにより、明治維新に関わる歴史的風致の維持及び向上に寄与する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

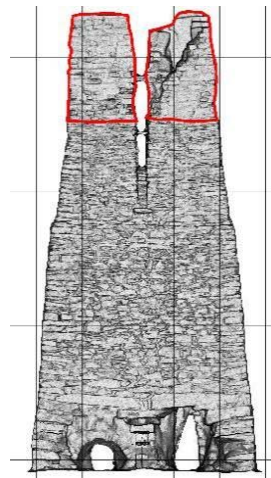
萩反射炉の劣化が進行した塔体煉瓦部及び煉瓦目地の補修方法について、建築学・工学が専門の整備委員への事前ヒアリング及び整備委員会を開催し、各委員からの指導・助言を受けながら、令和2年度に合意を得た煉瓦部補修の基本方針に基づき、煉瓦部の補修目地の材料試験及び組成体試験を実施した。また、令和5年度は12月末から足場台を設置し、破損状況などについて詳細に調査し、1つ1つの煉瓦についてカルテ(記録)を作成した。当現況調査の結果、煉瓦の劣化が予想以上に進んでいたため、令和7年度は整備委員会を開催し、補修方針の見直しについて検討した。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	在来の技術を結集して築造された萩反射炉に使用した煉瓦は、全国的に見ても類例に乏しく、専門家の中でも補修方法が確立されていない。萩反射炉整備委員会の各委員、内閣官房及び文化庁等と協議を重ねながら、合意形成を図っているため、保存修理方法の決定に時間を要している。補修煉瓦・補修目地については、当初材の強度・吸水性を重視し、可逆性のある補修方法に留意しながら保存修理に向けた準備を進めている。令和5年度の現況調査の結果、煉瓦の劣化が予想以上に進行していたため、撤去補修について見直し、補修工法及び施工手順の再検討を行う。見直し内容を踏まえ、モックアップ設計に着手する。

状況を示す写真や資料等



【萩反射炉 現況写真】



【萩反射炉 立面図】



【萩反射炉 足場台の設置】



【反射炉見学会の様子(令和6年3月実施)】

評価軸③-16

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和7年度
項目	現在の状況	

恵美須ヶ鼻造船所跡保存整備事業

- 実施済
- 実施中
- 未着手

事業期間 平成27年度～令和15年度

支援事業名 市内遺跡発掘調査等事業

計画に記載している内容 恵美須ヶ鼻造船所跡は、幕末に萩藩が洋式軍艦を建造した遺跡である。この遺跡の調査研究・保存整備を行うことで、その歴史的価値が向上し、多くの人々に情報発信することにより、明治維新に関わる歴史的風致の維持及び向上に寄与する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

確認調査

調査箇所・面積: トレンチ1(15㎡)、トレンチ2(15㎡)、トレンチ3(45㎡)、合計75㎡

調査内容: トレンチ1 造船場進水口の南側掘方と護岸石垣の確認、トレンチ2 造船場の底面の確認

トレンチ3 造船場の船首側の範囲確認

令和5年度はこれまでの発掘調査の成果を取りまとめ、遺構の保存、活用を行うための根拠となる報告書を作成した。令和7年度は報告書等のデータを元に、今後の遺構保全やガイダンス施設整備を行うための、資料作成の準備等を進めた。

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

令和元年度から令和3年度確認調査により、I地区からIII地区すべての基本層序と、昭和期と江戸期、江戸以前の海岸線の変遷を確認することができた。令和4年度は庚申丸造船場の規模を確定するための確認調査を実施し、令和5年度は報告書を作成した。今後は、この報告書を元に整備基本計画を作成し、史跡の整備や来訪者に分かりやすく遺跡の価値を知っていただくためのガイダンス整備を予定している。

状況を示す写真や資料等



令和4年度 史跡恵美須ヶ鼻造船所跡 発掘調査実施箇所図

評価軸③-17

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和7年度
項目		現在の状況	
<b>重要伝統的建造物群保存地区保存修理事業</b>		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成30年度～令和10年度		
支援事業名	伝統的建造物群基盤強化事業、萩市単独事業		
計画に記載している内容	国選定重要伝統的建造物群保存地区における伝統的建造物や歴史的景観との保全が図られ、祭礼等城下の町内(まちうち)における歴史的風致の維持及び向上に寄与する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
・国選定重要伝統的建造物群保存地区内の伝統的建造物等の修理4件 民間が所有する主屋等の保存修理、修景を実施			
実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)			
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	緊急度等を勘案し計画的に保存修理工事を実施し、歴史的まちなみを保存する必要がある。 近年の物価高騰等により、所有者が修理を取り止めるなどの案件が増えていることから、補助金の上限額の見直しについて検討している。		
状況を示す写真や資料等			

主屋塀修理(浜崎伝建地区)



修理前



修理後

主屋修理(浜崎伝建地区) ※修理中



修理前



修理中

評価軸③-18

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和7年度
項目	現在の状況	

萩城跡保存修理事業

- 実施済
- 実施中
- 未着手

事業期間 平成23年度～令和15年度

支援事業名 萩市単独事業

計画に記載している内容 史跡萩城跡を構成している重要な石垣の保存修理、城内の整備を行うことにより、花江茶亭などの伝統的建造物との歴史的景観の向上に繋がり、茶道にみる歴史的風致の維持及び向上に寄与する。

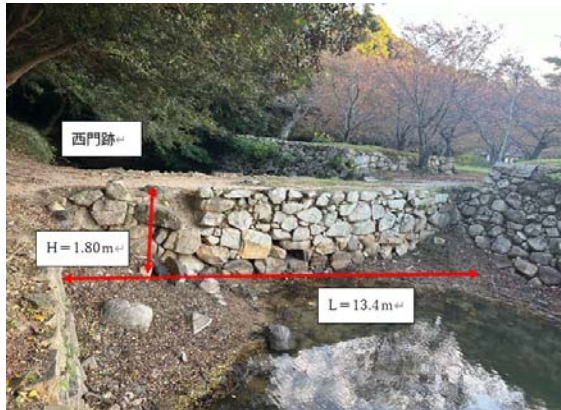
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

令和7年度は、西門跡周辺の石垣に孕み出し等の変化が生じており、崩落する危険性があるため、落石防止ネットの設置を行い、崩落の防止を図った。また、外堀内に堆積している土砂の浚渫、水路木柵の復旧工事を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	将来的には、東門跡、西門跡、紙矢倉跡、台所門跡の石垣の修理。旧福原家萩屋敷の復元、東園の整備を実施する。

状況を示す写真や資料等

西門跡周辺石垣



施工前



施工後

外堀法面



施工前



施工後

評価軸③-19  
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和7年度
項目	現在の状況	
文化財保護修理事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 令和元年度～令和10年度

支援事業名 萩市単独事業

計画に記載している内容 良好な町並みの景観の保全と歴史的建造物等の適正な維持管理が促進され、祭礼等城下の町内(まちうち)における歴史的風致の維持及び向上に寄与する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

文化財の修理等については、定期的に各文化財を巡視するとともに、文化財保護指導員や観光ガイドと協力し情報収集に努め、維持補修等を適切に実施しつつ、優先順位を付け計画的に修理事業に取り組んでいる。  
令和7年度は、7件の保護修理を実施した。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	維持管理を行っている文化財施設が多数にわたり、保護修理に必要な予算の確保が十分ではないため、定期的な巡視を行うことにより、初期段階での補修に努めている。 また、優先順位を決め、計画的に修繕事業を進めている。

状況を示す写真や資料等

旧田中別邸土塀保存修理工事

晋作広場縁石据え直し

施工前

施工前



施工後

施工後



		評価対象年度	令和7年度
項目		現在の状況	
弘法寺堀内線他無電柱化事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 令和元年度～

支援事業名 萩市単独事業

計画に記載している内容 世界文化遺産の構成資産、「萩城下町」の要素のひとつである、「御成道」等について、道路の防災性の向上、安全で快適な通行空間の確保、良好な景観の形成や観光振興の観点から、無電柱化を推進する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

令和元年度に無電柱化の概略検討業務を実施し、既設の地下埋設物や道路、建物等の状況を確認し、技術的に無電柱化が可能かどうかの検討を行い、概略の計画を作成した。また、各電線管理者との協議を行い、自治体管路方式での整備について合意の形成を図った。

進捗状況 ※計画年次との対応

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	自治体管路方式で整備予定であるが、道路事業では補助メニューがない状況である。また、遺構について文化庁との協議を進めるにあたり大規模な試掘が必要であるため、一部整備方針の見直しを検討中である。整備方針の見直しについても道路事業では補助メニューがないことから、観光庁メニューによる整備方針の見直し業務を令和8年度に実施する予定である。

状況を示す写真や資料等

**事業イメージ**

現状



無電柱化後



評価軸④-1  
文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	令和7年度
		現在の状況
①文化財の修理(整備を含む) ②文化財の保存 ③文化財の周辺環境の保全 ④埋蔵文化財の調査		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容  
文化財の修理については、それを構成する部材細部に特に注意し、破損が進んで部材を大きく取り替えることがないように所有者が日常的な手入れを怠らないよう定期的な清掃・点検や関係機関への連絡等の管理体制を確立する。保存管理計画を策定している文化財については、基本方針等に従って適正な保存管理を行っており、今後も計画に基づき保存管理を進めていく。保存管理計画を定めていない指定文化財については、文化財保護法等に基づき、現状変更及び保存に影響を及ぼす行為に対して、個別案件ごとに本質的価値を保全するために許可制による行為の規制を行っている。文化財周辺の環境保全については、都市計画法及び建築基準法に基づく萩市都市計画の用途地域と景観法に基づく景観計画の重点景観計画区域の設定や歴史的景観保存地区等の緩衝地帯を設け、周辺環境の保存に努める。埋蔵文化財の包蔵地に関しては常に現況を把握するとともに、開発等に当たっては事前に協議を行うよう指導し、できる限り包蔵地を回避するなどの措置を講じ保護に努める。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

文化財の修理・保存については、文化財保護指導員と協力し、定期的に各地域の文化財を巡視するとともに維持補修等を適切に行いつつ、長期的な計画に基づき各年度ごとに定めた保存修理事業や発掘調査を実施している。平成30年度からは、平成28・29年度に策定した萩反射炉をはじめとした世界文化遺産に係る「整備基本計画」に基づき、関連する遺跡等について整備を進めている。また、その他の文化財についても、随時、修復に努めるとともに、未指定文化財の調査なども定期的に進めている。

・萩市文化財保存活用地域計画の策定

地域の歴史や文化財を総合的・一体的に保存・活用することにより、地域の特徴を活かした地域振興及び確実な文化財の継承等につなげるため、住民、民間団体、有識者などで構成する協議会を設置し、令和4年度～6年度にかけて文化財保護法に基づく萩市文化財保存活用地域計画を策定した。(令和6年11月25日申請、令和6年12月20日計画認定)

・萩まちじゅう博物館を基盤とした文化観光推進地域計画の策定(萩周遊観光案内サイン整備事業) ※令和7年12月26日採択

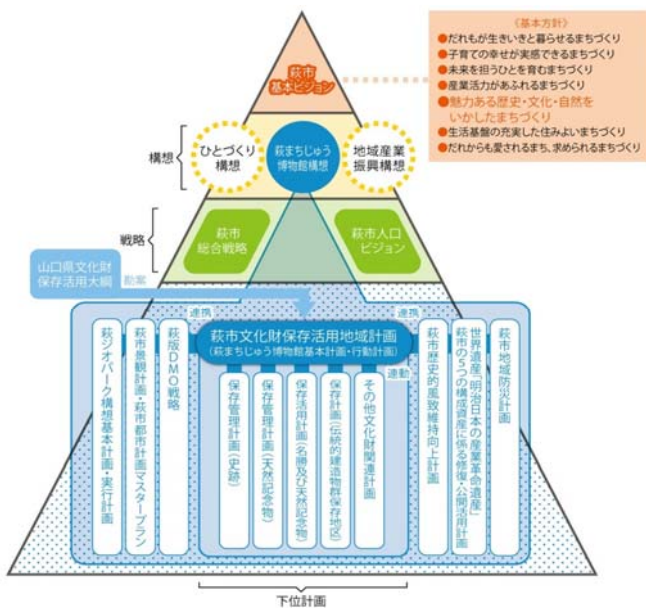
観光案内サイン整備計画の策定、既存の不要な観光案内の撤去  
広域かつ総合的な観光案内サイン(大拠点案内板)、近隣を周遊するための観光案内サイン(中拠点案内板)  
その他、上記を繋ぐ、周遊観光に必要な各所の誘導サインの整備

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	萩市文化財保存活用地域計画策定後の関係機関等への周知と連携した取り組み。

状況を示す写真や資料等



【萩市文化財保存活用地域計画協議会】



【萩市文化財保存活用地域計画の位置づけ】

評価軸④-2

文化財の保存又は活用に関する事項

		評価対象年度	令和7年度
		項目	現在の状況
<p>①文化財の普及・啓発 ②文化財の防災・防犯</p>		<p><input type="checkbox"/>実施済 <input checked="" type="checkbox"/>実施中 <input type="checkbox"/>未着手</p>	
<p>計画に記載している内容</p>	<p>萩市は、文化財を大切に保存・活用し、萩にしかない宝物を次世代に確実に伝えることを宣言した萩まちじゅう博物館条例を平成16年に制定した。「文化財保護強調週間」には、文化財に親しんでもらうことを目的とした文化財の公開や史跡めぐりなどの行事を実施しており、「文化財防火デー」には、消防署、文化財所有者等の協力を得て防火訓練などの文化財防火運動を展開している。また、このような行事のほかに保存修理工事の際は、できる限り現場見学会や住民参加型のイベントを実施し、さらには広報紙等を活用して文化財情報を市民に発信するなど文化財の保存及び活用の普及・啓発を図っている。市所有の文化財施設の大部分については、機械警備を設置し防犯に努めている。</p>		
<p>定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で</p>			
<p>平成27年7月に萩反射炉をはじめとする萩市の5資産を含む「明治日本の産業革命遺産 製鉄・鉄鋼、造船、石炭産業」が世界文化遺産に登録された。文化財保護指導員や地域住民・団体と協力し、セミナーや見学会等の機会を捉えて各地域の文化財の普及・啓発に努めている。さらに、未指定文化財の調査などを進めるとともに、まちじゅうに広がる文化遺産の調査・記録・認定の事業を継続し、萩全域での文化遺産の再発見と保全に努めている。</p> <p>【令和7年度主要事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・文化財の普及・啓発</li> <li>(1)世界文化遺産「明治日本の産業革命遺産」に係る普及・啓発             <ul style="list-style-type: none"> <li>世界文化遺産「明治日本の産業革命遺産」に係る帆船みらいへ体験航海事業を恵美須ヶ鼻造船所跡周辺で実施した(令和7年9月)</li> <li>世界文化遺産「明治日本の産業革命遺産」に係る登録10周年記念シンポジウムを開催した。(令和7年10月)</li> <li>世界文化遺産「明治日本の産業革命遺産」に係る萩の産業遺産群を対象とした絵画募集を実施した。(応募総数 中学生43点 小学生22点)</li> <li>世界文化遺産「明治日本の産業革命遺産」に係る萩反射炉ライトアップを実施した(令和7年10月～11月)</li> <li>世界文化遺産「明治日本の産業革命遺産」に係る萩城下町リアル宝探しを開催した。(令和7年10月～12月)</li> </ul> </li> <li>(2)伝統的建造物群保存地区に係る普及・啓発             <ul style="list-style-type: none"> <li>・文化財の維持管理                 <ul style="list-style-type: none"> <li>伝統的建造物群保存地区(堀内地区、平安古地区、浜崎、佐々並市)の町内会や保存団体等により、地区内の清掃を年間を通じて実施した。</li> </ul> </li> <li>・文化財エリアの活用                 <ul style="list-style-type: none"> <li>浜崎しつちよる会主催による御船倉コンサート(篠笛演奏)の開催(令和7年10月)</li> </ul> </li> <li>・文化財の防災                 <ul style="list-style-type: none"> <li>(1)文化財の防火訓練                     <ul style="list-style-type: none"> <li>文化財防火デーに合わせ、旧田中別邸において消防署、地元消防団、文化財所有者、地域住民の参加により防火訓練を実施。(令和8年1月)</li> </ul> </li> </ul> </li> </ul> </li> </ul>			
		<p>実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)</p>	
<p><input checked="" type="checkbox"/>計画どおり進捗している <input type="checkbox"/>計画どおり進捗していない</p>	<p>世界文化遺産登録後、来訪者が増加したことに伴い、保護の観点から定期的なモニタリング等に基づく各構成資産の適切な管理と保存が必要である。</p>		
<p>状況を示す写真や資料等</p>			
			
<p>文化財の普及・啓発 【世界文化遺産の構成資産】</p>		<p>文化財の活用 【世界文化遺産の構成資産】 帆船みらいへ体験航海事業</p>	
			
<p>文化財の普及・啓発 【世界文化遺産の構成資産】 萩城下町リアル宝探し 令和7年10月1日～12月28日</p>		<p>文化財の活用 【世界文化遺産の構成資産】 萩反射炉ライトアップ</p>	

評価軸④-3

文化財の保存又は活用に関する事項

項目		評価対象年度	令和7年度
			現在の状況
①文化財施設等の活用			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
計画に記載している内容	市内全域には国指定文化財、県指定文化財及び市指定文化財として225件の文化財が点在し、そのほとんどは歴史観光を基軸とする萩観光の資源であることから、標識や解説板などを整備し、市民をはじめ観光客に一般公開している。特に、内部を公開している文化財については、関連する史料の展示や年中無休のボランティアガイドによる案内、解説を行うとともに、四季を通して催し物を開催している。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
文化財の活用については、NPO萩観光ガイド協会や各まちづくり団体、実行委員会等と連携し、史跡や文化財建造物・歴史的風致形成建造物の一般公開を進めている。			
主な事業等 【令和7年度】 萩城跡等ライトアップ、着物ウィークin萩、萩・竹灯路物語、萩城下の古き雛たち、萩・椿まつりなど			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない		文化財施設の活用のため、年間を通して観光客等呼び込む魅力的なイベントの開催が必要。	

令和7年度 文化財施設等活用イベント



文化財施設ライトアップ  
 【萩城跡(史跡)】  
 通年:日没~22:00  
 萩城跡、萩駅舎等のライトアップイベント



着物ウィーク  
 【萩城城下町(史跡)ほか】  
 令和7年10月1日(水)~11月15日(土)  
 和の装いで、江戸時代の趣を残す萩の町並みを楽しんでいただくイベント



萩・竹灯路物語  
 【萩城城下町(史跡)ほか】  
 令和7年10月10日(金)~12日(日)  
 竹灯籠の灯りで、城下町を照らし夜の町並みの魅力をPRするイベント



萩城下の古き雛たち  
 【菊屋家住宅(重要文化財)、口羽家住宅(重要文化財)ほか15施設】  
 令和8年2月3日(火)~4月3日(金)  
 萩市民が大切にしてきた雛人形を市内の文化財施設に飾りまち歩きを楽しんでいただくイベント



萩・椿まつり  
 【笠山虎ヶ崎椿群生林(天然記念物)】  
 令和8年2月21日(土)~3月22日(日)  
 椿の花の季節に、日本でも屈指の椿群生林を楽しんでいただくイベント



文化財施設を活用した朗唱教室等  
 【萩・明倫学舎】  
 国登録有形文化財(萩・明倫学舎【本館】)を活用した朗唱教室等を定期的に開催

評価軸⑤ 効果・影響等に関する報道		評価対象年度	令和7年度
報道等タイトル	年月日	掲載紙等	
<b>【計画等に関連する記事】</b>			
子の健やかな成長願い 萩・藍場川で流し雛	R7.4.4	山口新聞	
萩の陶芸家・松尾さんに日本工芸会山口支部長賞	R7.4.6	山口新聞	
萩八景遊覧船で花見楽しんで 桜鑑賞コース運航中	R7.4.10	山口新聞	
萩の和船競漕6月1日開催 参加チーム募集	R7.4.11	読売新聞	
アート盆栽と萩焼が初コラボ	R7.4.22	山口新聞	
街を巡ってお気に入り探して 来月1日から萩焼まつり	R7.4.26	山口新聞	
一緒に茶の湯も楽しんで 3,4日は「萩・大茶会」	R7.4.26	山口新聞	
維新の志士 駆け抜けた街 萩城下町	R7.4.27	読売新聞	
萩のシロウオ、来季は豊漁期待	R7.5.1	山口新聞	
萩焼 どれにしようかな 食器や茶器展示即売	R7.5.2	読売新聞	
世界遺産登録10周年 藩校跡で増す臨場感	R7.5.3	毎日新聞	
白い花と甘い香り 夏ミカン開花宣言 萩市、あすから祭り	R7.5.9	山口新聞	
香り・収穫・味覚楽しんで 萩・夏みかんまつりきょうまで	R7.5.11	山口新聞	
伝統の和船競漕「おしくらごう」 萩の橋本川	R7.6.5	山口新聞	
萩の世界遺産、最新情報を 登録10周年企画展	R7.6.10	山口新聞	
「萩ものがたり」ブックレット20周年記念は「晋作」	R7.6.11	毎日新聞	
江戸初期の豪商住宅国の重文 萩「菊屋家」で夜カフェ	R7.6.13	毎日新聞	
産業革命遺産カードラリー 周遊し「価値の再認識を」	R7.7.2	読売新聞	
城下町の夜空 7千発が彩る 萩日本海大花火大会	R7.8.3	山口新聞	
米国の大地 伝統美と呼応 萩焼作家 十三代三輪休雪さん	R7.8.3	読売新聞	
きょう萩・万灯会迎え火 藩祖毛利輝元没後400年石灯籠点灯	R7.8.13	山口新聞	
幻想的 柔らかな光 萩・万灯会きょう東光寺で送り火	R7.8.15	山口新聞	
萩で木間風鎮祭 市無形民俗文化財「神代の舞」奉納	R7.8.17	山口新聞	
帆船「みらいへ」萩に 明治の産業革命遺産 世界遺産10年	R7.9.7	朝日新聞	
伝統工法「三和土」奥深さ体験 国重文 萩・熊谷家住宅	R7.9.15	朝日新聞	
着物姿で萩城下 割引特典や催し 来月から	R7.9.25	読売新聞	
毛利輝元没後400年、萩に鉄道開業100年 萩博物館で合同企画展	R7.10.4	山口新聞	
萩城下彩る竹灯籠 あすから竹灯路物語、12日まで	R7.10.9	山口新聞	
萩焼を見て、使って きょうから萩陶芸家協会30周年展	R7.10.11	山口新聞	
お気に入りの品探して窯元巡り「萩・田町萩焼まつり」萩焼を展示即売	R7.10.12	山口新聞	
萩の「お宝」巡り楽しもう まちじゅう博覧会が開幕、来月30日まで	R7.10.21	山口新聞	
萩焼18窯元が新作など販売 萩市で「式萩祭」	R7.11.2	山口新聞	
世界遺産登録10年記念 「萩反射炉」幻想的 16日までライトアップ	R7.11.8	毎日新聞	
歴代藩主に扮し城下町練り歩く 萩時代まつり	R7.11.11	山口新聞	
マンガでわかる！萩の世界遺産 登録10周年記念で出版	R7.11.18	毎日新聞	
町並み守る住民の誇り 萩・堀内地区 空き家増 町内会が対策	R7.11.22	読売新聞	
日本の近代化を導いた吉田松陰の先見性知る 萩で特別展	R7.11.26	山口新聞	
松陰神社に萩高美術部デザインの絵馬	R7.12.3	山口新聞	
萩城下町巡る謎解き催し 28日まで「散策しながら楽しんで」	R7.12.4	読売新聞	
寒風なんの2391人走る 萩城下町マラソン	R7.12.16	朝日新聞	
計算できない面白さが 登り窯の窯焚き 萩・陶芸の村公園25日に窯出し	R7.12.18	毎日新聞	
萩焼 小中生の力作62点	R8.1.12	読売新聞	
今を生きる私たちの参考に「偉人16人の書」を初公開 萩博物館	R8.1.13	毎日新聞	
着物ウィーク写真コン 内山さんグランプリ	R8.1.14	山口新聞	
萩でヤブツバキ開花宣言 笠山椿群生林	R8.1.20	山口新聞	
萩観光シーズン開き 21日から椿まつり	R8.2.2	山口新聞	
旬の「桜ふぐ」楽しんで 萩の13飲食店が特別メニュー	R8.2.11	毎日新聞	
松陰先生のように志高く 椿東小6年生、松下村塾で発表会	R8.2.18	山口新聞	
萩・椿まつり開幕 児童4人が巫女の舞披露	R8.2.22	山口新聞	
萩城下でふ”ひな巡り”	R8.2.23	毎日新聞	
萩八景遊覧船が運航開始 山口DCに合わせ12月まで	R8.3.2	山口新聞	
三輪窯一陶の造形一展 萩焼の現在形特別展	R8.3.3	毎日新聞	
萩・明倫学舎でぞうきんがけレース 拭いて、転んで90分	R8.3.10	山口新聞	
夏みかん五感で満喫 萩で経済栽培150年企画展	R8.3.11	山口新聞	
進捗状況 ※計画年次との対応	実施にあたっての課題(自由記述)		
□計画の進捗に影響あり ■計画の進捗に影響なし	各事業の報道を行ってもらうために、各メディアに対する細かな情報提供や萩らしい特色ある事業の実施が重要である。		

評価軸⑥ その他(効果等)		評価対象年度	令和7年度																																										
項目																																													
<b>萩市歴史的風致維持向上計画(全体)</b>																																													
計画に記載している内容	<p>萩市は、平成21年1月19日に第1期計画となる「萩市歴史的風致維持向上計画」の認定を受け、歴史的風致の維持向上を図るため、歴史的建造物等の保存・修理を計画的に行ってきた。</p> <p>歴史的に重要な文化財が数多く残存する萩市において、この豊かな萩市固有の歴史的風致を次世代に伝え、引き継いでいくため「歴史まちづくり法」第5条第1項に基づき、「萩市歴史的風致維持向上計画(第2期)」を策定した。</p>																																												
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付																																													
<p>萩市歴史的風致維持向上計画に基づき、一元化した実施体制を構築するとともに市民団体と協働により計画を推進している。</p> <p>具体的には、歴史的風致の維持及び向上に資する各事業を進めたことにより、一定程度、観光振興並びに地域経済の活性化への効果があった。</p> <p>令和7年度の主要イベントは、コロナ前とほぼ同様に開催された。また、観光施設の公開も引き続き行った。</p>																																													
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)																																												
<input type="checkbox"/> 計画の進捗に影響あり <input checked="" type="checkbox"/> 計画の進捗に影響なし	古民家等の活用を積極的に推進し、歴史的風致の維持・向上を図っていく。																																												
状況を示す写真や資料等																																													
<p>計画事業(イベント)参加者数の推移</p> <table border="1"> <caption>計画事業(イベント)参加者数の推移</caption> <thead> <tr> <th>年次</th> <th>萩夏まつり</th> <th>萩の和船大競漕「おしくらごう」</th> <th>浜崎伝建おたから博物館</th> <th>萩・万灯会</th> <th>萩・大茶会</th> <th>萩焼まつり</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R3</td> <td>5,000</td> <td>1,000</td> <td>4,700</td> <td>204</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>35,000</td> <td>1,500</td> <td>12,000</td> <td>6,500</td> <td>1,143</td> <td>39,152</td> </tr> <tr> <td>R5</td> <td>38,000</td> <td>1,500</td> <td>13,000</td> <td>8,300</td> <td>1,634</td> <td>45,772</td> </tr> <tr> <td>R6</td> <td>40,000</td> <td>2,000</td> <td>12,000</td> <td>7,200</td> <td>1,558</td> <td>47,077</td> </tr> <tr> <td>R7</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table> <p>■ 萩夏まつり ■ 萩の和船大競漕「おしくらごう」 ■ 浜崎伝建おたから博物館 ■ 萩・万灯会 ■ 萩・大茶会 ■ 萩焼まつり</p>				年次	萩夏まつり	萩の和船大競漕「おしくらごう」	浜崎伝建おたから博物館	萩・万灯会	萩・大茶会	萩焼まつり	R3	5,000	1,000	4,700	204	-	-	R4	35,000	1,500	12,000	6,500	1,143	39,152	R5	38,000	1,500	13,000	8,300	1,634	45,772	R6	40,000	2,000	12,000	7,200	1,558	47,077	R7	-	-	-	-	-	-
年次	萩夏まつり	萩の和船大競漕「おしくらごう」	浜崎伝建おたから博物館	萩・万灯会	萩・大茶会	萩焼まつり																																							
R3	5,000	1,000	4,700	204	-	-																																							
R4	35,000	1,500	12,000	6,500	1,143	39,152																																							
R5	38,000	1,500	13,000	8,300	1,634	45,772																																							
R6	40,000	2,000	12,000	7,200	1,558	47,077																																							
R7	-	-	-	-	-	-																																							

法定協議会等におけるコメント

(様式2)

評価対象年度	令和7年度
評価軸③-20	
コメントが出された会議等の名称: 第18回萩市歴史的風致維持向上計画協議会	
会議等の開催日時: 令和8年2月27日	
(コメントの概要)	
協議会議事	
<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 萩市歴史的風致維持向上計画の進行管理・評価について</li> <li>(2) 萩市歴史的風致維持向上計画の軽微な変更について</li> </ul>	
コメント等	
<p>・「担い手の確保が課題」となっている項目が多い。指定文化財については県でも後継者の確保・育成を支援していくが、それだけでは不十分なところもある。特に未指定のものについては市のほうでも後継者育成の検討を通常の見直しと併せておこなってはどうかと思う。</p> <p>・ワンコイントラスト運動について、当初は修理の件数もかなり上がっているのに対して、近年は修理実施年度がかなり飛んでおり、集まる金額も減っていることが伺える。一方で修理費用は高騰していると考えられるので、資金の集め方の見直しや別の資金の集め方を検討したほうがよいのではないか。</p> <p>・ワンコイントラストに関連して、文化財施設をただ開けておくのではなく、もう少し趣向を考える必要がある。近年は文化財の高付加価値化も叫ばれており、来館者に来てよかった、何かを得られたと感じてもらふ工夫をするべき。また、来館者にワンコイントラストの趣旨がよく伝わっていないと感じる。萩市が文化財の保全・活用に力を入れていることやそれらの魅力が伝わるパンフレット・冊子(持って帰りたくなるもの)があるとよい。</p> <p>・弘法寺堀内線他無電柱化事業について、早急に、優先的に事業を進めてほしいと思う。令和8年度に整備方針の見直しをおこなうと報告があったが、これはどのように整備するかを考えるとということで、令和8年に工事は実施しないということか。</p>	